

浜松東こども園 自己評価報告書

令和7年8月 実施

評価基準 A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

評価項目	評価	○取組状況 ◎今後の取り組み等
教育及び保育の目標 ・ 保育目標について ・ 保育について ・ 日時等 ・ 行事について	B	○保育目標や行うことは似ているがその年の子どもの発達の様子によって設定をしている ○デイリープログラムを更新した ○毎月指導計画を立てるように良い環境づくりをしている ◎正規職員、パート関係なく保育目標の共通理解が必要である ◎行事をもっと少なくしたい ◎行事練習を詰め込み過ぎてしまった
経営・組織 ・ 分掌・体制 ・ 運営 ・ 年齢別・クラス経営 ・ 保健・安全指導	B	○皆で協力をして取り組むことができている ○複数担任のクラスは意見が多く出るためまとめることが難しい場面もあるが、お互いに話し合っって目標に近づけるよう保育に取り組んでいる ◎異年齢で交流する時間ではまんべんなく子どもたちの様子を見ていくようにしたい ◎避難訓練はまず保育者が落ち着いて動けるように意識をして毎回取り組んでいくようにしたい ◎感染症予防のため保護者に協力を仰いでいきたい
研究・研修 ・ 所内研究・研修 ・ 所外研究・研修	A	○改めて物事について考え直す機会になっている ○園内研修に参加することでいろいろな考え方や疑問点を感じることができた ◎外部研修を受ける機会を増やしてもらいたい ◎園内研修の内容がマンネリになってしまわないように組んでいきたい
情報について	A	○プライバシーがしっかり守られていると思う ○鍵のついた棚にて保管している ○大切に扱っている ◎引き続き慎重に扱っていきたい
施設・設備 ・ 室内外の安全点検 ・ 不審者	A	○担当を決めて管理をしている ○不審者訓練を行い緊急時の対処法を共有している ◎劣化しているものや危険な箇所を発見するためにも点検は大切であると思う。気になる個所を発見した場合はすぐに用務へ伝え、危険のないように配慮していきたい

<p>開かれた保育所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間交流・連携 ・家庭・地域社会との交流 ・子育て支援の推進 ・情報の発信 ・外部評価 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中高生のボランティアを受け入れることで『お兄さん・お姉さん』と触れ合うことの楽しさを学んでいると思う ○消防士や保育参観等での交流しかないが、安全面のことを考えると、今の情勢では不特定多数の地域社会との交流は危険かと思う ○子育て相談など、親子ひろばの時間を使って行っている ○定期的にホームページ等を更新し、随時お知らせを行うことができている ◎ネット配信を行ってはいるが見ない親がいる。見ていただくように掲示等でお知らせしていきたい ◎他施設との交流がコロナ以降なくなってしまった。少しずつ他園ともかかわりを持っていくようにできたらいい ◎小学校への参観会の機会を持ちたい
<p>所見</p> <p>今このご時世で不特定多数の人間をみだりに園内へ入れることは難しい。地域社会とのかかわりは大切ではあると思うが、不測の事態があった時に対処しきれない。また、コロナでなくなってしまった交流をもう一度持つことは相手があることなので慎重に検討をしていく。</p> <p>園の良さを生かしながら、園児や職員の負担にならないような行事運営を考えていきたい。</p> <p>職員同士しっかりとコミュニケーションを取れていると感じるので、引き続きなんでも言い合えるような雰囲気を作っていきたいと思う</p> <p>情報管理が重要な時代となっているので、引き続き情報管理やネットリテラシーなどの職員教育を行っていききたい</p>		

浜松東こども園 園長 稲垣香織